



きやま

真庭市立木山小学校だより

R6年度 第25号

令和6年 11月25日(月)発行

5年生が学年PTA活動でもちつきをしました



先月脱穀・乾燥を終え、精米していたもち米で5年生が11月15日(金)5・6校時にもちつきをしました。今回は地域のボランティアさん3名にお手伝いをお願いし、学年PTAとして親子で行いました。

3グループに分かれ、交代で石臼でついたり、つき上がったおもちをмонで成形したり、湯通しした後各学年に配膳したりしました。蒸し上がったもち米がおもちになっていく様を初めて見る子もいて、興味深そうに見つめていました。

地域の方にお世話になりながら、自分たちで植え付け収穫したもち米でついたおもちの味は格別だったようで、多い子は4個くらいほおばっていました。

もみまきからもちつきまで、多くの労力と人手がかかる米作りですが、地域のボランティアの方々のご支援とご協力により実り多い活動とすることができました。大変お世話になり、ありがとうございました。

5・6年箏学習が始まりました

毎年、5・6年生は箏学習に取り組んでいます。今年の題材曲は5年生が「さくら」、6年生が「荒城の月」で、各5時間でマスターすることを目指します。

11月18日(月)は初回の練習日でした。講師の豊岡朗子先生から、基本の姿勢や楽譜の読み方、弾き方などを教えていただきました。練習は音楽室に正座して行うので、慣れない正座による足のしびれに悪戦苦闘しながらも、一生懸命に練習に取り組んでいました。

11月27日(水)の最終日には通して演奏できるように、がんばって練習を続けています。



上級生との交流に学ぶ

① 1年生と5年生

1年生は11月19日(火)にこども園年長組さんと秋の風物を使ったおもちゃで交流することにしていました。交流会に向けて1年生は、どんぐりなどの木の实や落ち葉などを使って、様々なおもちゃを作りました。本番を前にした11月15日(金)、1年生は5年生に準備の仕上がり具合を確認してもらい、



さらに良くするためのアドバイスをもらっていました。

おもちゃで5年生と一緒に遊ぶ中で、改良点について優しく教えてもらったり気づいたりした1年生。その気づきを基に本番に向けて最終調整をしていました。

② 3年生と2年生



3年生は2学期の総合的な学習で「真庭市の良いところ」について調べ、タブレットでまとめていました。このほど、まとめたことを、来年から総合的な学習に取り組んでいく2年生に向けて、発表しました。

4つのグループそれぞれが、テーマに添って調べたことを文章や画像を織り交ぜながらまとめていました。2年生は3年生の発表を興味深く聞きながら、来年度からの学習に意欲を高めている様子でした。2年生からは「真庭市の蒜山やはんざきのこと

がよく分かった。」などの感想が出されていました。

1年生とこども園年長組さんとの交流会

11月19日(火)2・3校時、1年生とこども園年長組さんとの交流会を体育館で実施しました。この日に向けて、5年生にアドバイスをもらいながら準備万端整えてきた1年生。張り切って年長組さんを迎えていました。

最初はお互いに少し緊張していた様子でしたが、「なかよしゲーム」で緊張がほぐれた後は、おもちゃを介して笑顔で交流ができました。年長組さんに、遊び方を説明したりお助けをしたりする様子は、立派なお兄さん・お姉さんの顔で、とても頼もしかったです。年長組さんを送り出した後も、会場の体育館の掃除や片づけもみんな協力してやり遂げました。よくがんばったね、1年生!



4年生が手話について体験学習をしました



聴覚障害について学習している4年生。11月19日(火)3・4校時、聴覚障害の方と手話通訳者の方を講師にお招きし、手話についての体験学習をしました。

「木山小学校」や自分の名前、色の名前など、身近なものの手話を教えていただくと、すぐに覚えて、手話でお互いにコミュニケーションを取り合っていました。

続いて、聴覚障害をおもちの方から、日常生活で困ることなどについて、お話を伺いました。家電の通知音など、身の回りには音声による合図が意外と多く、聴覚障害をおもちの方にとっては不便だということを、子どもたちはお話を通して理解していました。

誰もが安心して暮らすことができる環境について考えるよい機会となったようです。